

九州運輸局メールマガジン
平成22年3月18日 第74号(発行日:毎週木曜日)
~九州の明日を拓く運輸と観光~
九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご覧ください。

目次

- 1.九州運輸局ホームページアップ情報(3月11日~3月17日掲載分)
 - トピックス
 - プレス発表
 - 入札・契約情報
 - 行政処分状況
 - お知らせ
 - バス・タクシー・トラック
 - 公共交通活性化(事後報告)
 - 物流
- 2.現場レポート
 - 「九州ICカード相互利用サービス」開始!
- 3.九州運輸局セミナー
 - 造船もプレジャーボートもモーターボート競走もやっています!
- 4.リレーコラム【佐賀運輸支局次長 原田 清隆】
- 5.編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】(3月11日~3月17日掲載分)

トピックス

- ・平成22年度物流連携効率化推進事業の公募の開始について
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kannkyou/file03c.htm>

プレス発表

《観光》

- ・タイからテレビ局スタッフをお招きして九州のグルメをPRします!(3月11日発表)
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100311.pdf>
- ・中国遼寧省の教育関係者招請を実施します!(3月12日発表)
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100312.pdf>
- ・将棋交流をテーマとして中国上海市教育関係者招請を実施します!(3月12日発表)
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100312_2.pdf

《自動車》

- ・「長崎交通圏タクシー適正化・活性化協議会」第3回協議会の開催について(3月11日発表)
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100311_2.pdf
- ・第3回 佐賀市・唐津市タクシー特定地域協議会の合同開催について(3月15日発表)
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100315.pdf>
- ・「佐世保市地域タクシー適正化・活性化協議会」第3回協議会の開催について(3月16日発表)
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100316.pdf>
- ・第3回「宮崎交通圏・都城交通圏・延岡市タクシー特定地域協議会」の開催について(3月17日発表)
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100317.pdf>

入札・契約情報

- ・企画競争結果の公表

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/100312.pdf

行政処分状況

- ・一般乗合旅客自動車運送事業者の行政処分状況（平成22年2月分）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/noriai21.htm>

- ・一般貸切旅客自動車運送事業者の行政処分状況（平成22年2月分）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri21.htm>

- ・一般乗用旅客自動車運送事業者の行政処分状況（平成22年2月分）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou21.htm>

- ・一般貨物自動車運送事業者の行政処分状況（過積載を除く）（平成22年2月分）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu21.htm>

- ・一般貨物自動車運送事業者の行政処分状況（過積載に限る）（平成22年2月分）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kasekisai21.htm>

九州統計情報

- ・平成21年管内在籍船舶の現況について

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/zousen/zousen02_1003.pdf

お知らせ

- ・ヤマト運輸株式会社への行政処分の取消しました。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file21_220312.pdf

- ・能力認定試験（PEC：水先人免除）の公示について

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file05_01/nouryoku_kouji.pdf

バス・タクシー・トラック

- ・バスの申請・処分状況

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/s_2202.pdf

- ・タクシー事業関係公示等（平成22年3月1日付、3月12日付一部改正）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13_4.htm

- ・タクシーの申請公示状況

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/k_220311.pdf

- ・タクシーの申請・処分状況

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/s_2202.pdf

- ・トラックの申請・処分状況

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/s_2202.pdf

公共交通活性化（事後報告）

- ・「平成21年度九州運輸局 地域公共交通活性化・再生総合事業」における二次評価の実施について

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/guide/katupro/img/hyouka21.pdf>

物流

- ・物流連携効率化推進事業（リニューアル）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kannkyou/file03b.htm>

【現場レポート】

「九州ICカード相互利用サービス」開始！

平成22年3月13日から、九州旅客鉄道株式会社の「SUGOCA」、西日本鉄道株式会社の「nimoca」、福岡市交通局の「はやかけん」、東日本旅客鉄道株式会社、東京モノレール株式会社、東京臨海高速鉄道株式会社の「Suica」の、IC乗車券および電子マネーの相互利用サービスが開始されました。

サービス開始にあたり、「九州ICカード相互利用サービス開始記念式典」が3月13日午前10時より、九州運輸局福本局長をはじめ、福岡県山崎副知事、福岡市吉田市長、福岡市議会光安議長が来賓として、さらに、各交通事業者の代表者や関係者が数多く参列するなか、盛大に執り行われました。

式典は、まず交通事業者を代表し、九州旅客鉄道株式会社唐池代表取締役社長が挨拶され、その後、福本局長より、「福岡都市圏のICカード型乗車券とJR東日本のスイカが、電子マネーを含め、相互利用が可能になることで、利用者の利便性が向上し、ICカード型乗車券の普及がさらに促進されるものと多に期待している。」との祝辞がありました。来賓祝辞に続き、くす玉割、記念撮影を行い、JR九州博多駅中央改札口へ移動し、渡り初めが行われました。渡り初めは、来賓、各交通事業者の代表者の方々に加え、各交通事業者のマスコットキャラクターも勢揃いし、華やかな雰囲気となりました。

この度の相互利用サービス開始により、電子マネーも各加盟店で利用可能となるとともに、福岡都市圏の電車・バスが1枚のICカードで利用できるようになり、利用者の利便性が飛躍的に向上されることから、公共交通機関の利用促進につながるものと確信しています。

九州運輸局は、公共交通機関利用者の利便性向上に寄与するICカード乗車券の普及を積極的に推進しています。

当日の式典の様子は、次のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_74.pdf

(交通環境部消費者行政・情報課)

【九州運輸局セミナー】

○造船もプレジャーボートもモーターボート競走もやっています！

海事振興部船舶産業課では、管内の造船業・船用工業(船舶用機器)の発達、プレジャーボート(レジャー用ボート)を利用したマリレジャーの振興及びモーターボート競走の指導監督等多岐にわたる業務を行っています。

まず、造船業ですが、九州は国内の建造量の3割、世界の建造量の1割を占めるほどの造船王国で、「造船アイランド」と称されています。世界最大級の100万トンドックを有する三菱重工長崎造船所を始め大手造船所が5社、中小手の造船所を含めると九州管内で200社余りが操業しています。建造されている船種も様々で、積載量30万トンクラスの石油タンカーや鉱石運搬船、自動車専用船、コンテナ船等の外航船から、国内のフェリー、貨物船、旅客船まで幅広く建造されています。最近の経済不況で、建造受注量はまだ回復していませんが、近年台頭してきた韓国・中国に負けない技術力を駆使して、省エネ船を中心に挽回をはかっています。また、船舶用エンジンのシリンダーライナー、アンカー等の船舶用機器においても九州は高い技術力を持ち全国をリードしています。

次に、プレジャーボートについても不況の影響で販売数が減少しており、国民の目がなかなか海に向かない状況が続いております。そこで、九州に17駅ある「海の駅」と連携して利用促進策を探りマリレジャーの振興を図っています。今年度は、大村湾における「海の駅」の調査を行いました。ミニボート等が参加できるイベントづくり、大村湾のルールづくり等提案していますので、地元関係者と一緒に検討し大村湾をマリレジャーのメッカにしていきたいと思っております。

最後に、モーターボート競走ですが、九州管内には全国の4分の1となる6競

走場があり、さらに、柳川市には全国唯一の訓練施設である「やまと競艇学校」があります。このように九州はモーターボート競走が盛んな地域ですが、近年売上げが低迷しており、開催自治体は場外舟券売場の設置や電話投票の拡充等ファン獲得の対策を次々と打ち出しています。モーターボート競走の目的は、その売上げを海・船に関する事業の振興や小中学校の整備など広く公共的な事業に使用することにあります。

レースは間近に見ると非常に迫力があり、さらに一部競走場ではナイターレースも実施されておりカクテル光線が水面に映えてとても綺麗です。是非一度競走場に足を運んでみてはいかがでしょうか。

(海事振興部船舶産業課)

【リレーコラム】

今年も桜の季節が近づいてきた。

昨年4月、唐津勤務となり「唐津城」の前の道を車で通った時に、両脇にある桜並木の桜の花びらが風に舞っていたのを思い出す。早いもので一年になるうとしていく。唐津庁舎の窓からは「唐津城」や「虹の松原」などがよく見える。この辺は小学生の頃海水浴で来たことがあり、その後も何度か来てはいるが、詳しくは知らなかったなので、改めて調べてみた。

唐津の地は、松浦党を束ねる波多親氏の所領だったが、文禄の役で豊臣秀吉から改易処分を受け、後に寺沢広高氏が入り、慶長7年～13年「唐津城」を築く。築城の際、城を守るため地続きであった満島山を切り離し、松浦川の流れを現在の形に変えたといわれている。また、国の特別名勝で、「美保の松原」「気比の松原」とともに日本三大松原のひとつに数えられる「虹の松原」は、長さ約5km、幅約1kmにわたり約100万本のクロマツが群生しているが、これも17世紀初め、初代唐津藩主の寺沢広高氏が防風・防潮のため、海岸線の砂丘にクロマツを植樹したのがはじまりとされており、唐津へ大きな足跡を残している。

「虹の松原」の不思議な伝説を見つけたので紹介したい。

(その一) セミが鳴かない。太閤秀吉が騒々しいセミに一喝したためだとか。

(その二) 松の背がみんな低い。同じく秀吉が高く伸びた松に「頭が高い」と睨んだことが起こりだとか。

(その三) すべてがクロマツだけ。だとか

(その四) 蛇がいない。諏訪神社に祀られている諏訪姫の願によるものだとか。

(その五) 瓜二つの槍掛松。枝振りが全く同じ二本の松。今は一本だけ現存だとか。

(その六) 海岸に近い二軒茶屋の井戸が真水。だとか

(その七) 高島・神楽島を結ぶ延長線が松原の中心点。だとか

ほかにも三大 や七不思議などがこの近くにあるかもしれない。また、見つけたい。

なお、唐津城周辺の舞鶴公園は桜やフジの花の名所となっているので、その頃をお薦めする。

(佐賀運輸支局次長 原田 清隆)

【編集長だより】

今週は極端に冷え込むこともなく、少しずつ春らしくなってきました。

福岡管区気象台は九州で最も早く14日に福岡市で桜が開花したと発表しました。平年より12日も早い開花ですが、満開までは後10日程待つ必要があります。

桜には「大山桜」「江戸彼岸桜」「カンヒサクラ」など多くの種類がありますが、開花宣言の対象となる桜はソメイヨシノ「染井吉野」です。一般に花見で見る桜も「ソメイヨシノ」が多いのではないのでしょうか。この「ソメイヨシノ」は江戸末期頃より江戸の染井村で「吉野桜」を基に改良され、花が綺麗で育てやすいということから、明治期に入り全国に広がったそうです。

しかし、日本はもちろん九州各地で樹齢何百年といった巨木・銘木として有名な桜は「江戸彼岸桜」が多いそうです。桜の名所といわれる広い公園で何千本という木が一斉に花開く豪華絢爛な桜もいいですが、山里に1本だけ人目を避けるように老木にムチ打ってひっそりと咲く桜も風情があつていいものです。

老婆心ながら、樹木の張り出した枝と同じ量だけ地下にも根が張っているといわれています。根の地上部を大勢の人で踏み固められると木が弱ってしまいます。花見をする時は枝の下には立ち入らず、なるべく離れて見たほうが木も喜ぶのではないのでしょうか。

皆様のお知りになりたい情報・ご意見・ご要望等をお聞かせください。
編集部ではできる限りご要望にお応えしたいと思います。
下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次のURLに掲載しています。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html